【広報さざんか2022年4月号1面(特集)】

2022年4月号　№311

編集／発行　住之江区役所　総務課(ICT・企画)

　　　　　　〒559-8601　大阪市住之江区御崎3丁目1番17号

　　　　　　☎6682-9992　FAX6686-2040　おかけ間違いにご注意ください。

区役所開庁時間

　月曜～木曜　9時～17時30分　金曜9時～19時(ただし17時30分以降は一部窓口のみ)

　毎月第4日曜　9時～17時30分(一部窓口のみ)

ＱＲのＵＲＬ＝http://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/index.html

EXPO　2025　OSAKA,KANSAI,JAPAN

4月号の主な記事

住之江区運営方針　1～3面

子育て情報　5面

咲洲あいのもりプロジェクト　8面

地活協通信(南港緑)　12面

すみのえ学びレポート　別冊

内容について令和4年3月16日時点のものです。新型コロナウイルス感染症の影響により現在は変更となっている場合があります。

--------------------------------------------------------------------------------

令和4年度

住之江区運営方針を策定しました

愛しむ(いつくしむ)

育む(はぐくむ)

備える(そなえる)

住之江区長　末村　祐子

子どもから高齢者まで、住之江区で暮らし、学び、働くすべての人が、自分の将来に夢と希望を持って地域など、周りの人々と幸せに暮らすことができるまちをめざします。

これまで以上に「ありがとう」が聞こえるまち、住之江区をめざします。

--------------------------------------------------------------------------------

新型コロナウイルスワクチン 追加接種(3回目)にはオスカードリーム会場のご利用が便利です！

Osaka Metro四つ橋線／ニュートラム「住之江公園駅」(直結)

　大阪市では、新型コロナウイルスワクチンの2回目接種完了から一定期間以上経過した方を対象に、追加接種(3回目接種)を実施しています。

　年齢や2回目接種からの接種間隔により、順次接種券を発送しています。接種券が届いた方から予約・接種ができます。

大阪市の集団接種会場

ファイザー

城見ホール(中央区)

武田／モデルナ

やすらぎ天空館(阿倍野区)

扇町プール(北区)

OCAT(浪速区)

オスカードリーム(住之江区)

心斎橋BIGSTEP(中央区)

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000541361.html

追加接種(3回目接種)の詳細はこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000549932.html

接種券の発送スケジュールはこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000549618.html

予約方法等の詳細はこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000528324.html

取扱医療機関(個別接種)はこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000544831.html

大阪府コロナワクチン接種センターはこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://osaka-mvc.com/

自衛隊大規模接種会場はこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.mod.go.jp/j/approach/defense/covid/index.html

※ホームページをご覧いただくことが難しい場合は、大阪市新型コロナワクチンコールセンターへお問合せください。

問合せ先

大阪市新型コロナワクチンコールセンター(受付時間：9:00～21:00　土日祝含む)☎0570-065670　または06-6377-5670　FAX0570-056769

最新の情報はこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000524920.html

--------------------------------------------------------------------------------

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号2-3面(特集)】

令和4年度

運営方針の主な取組み

これまで以上に「ありがとう」が聞こえるまち、住之江区の実現に向けて

運営方針は住之江区将来ビジョンの単年度ごとの具体取組です。

育む(はぐくむ)

子どもたちが輝くまちづくり

------------------------------------

SDGs

【目標1】　貧困をなくそう

【目標3】　すべての人に健康と福祉を

【目標4】　質の高い教育をみんなに

【目標5】　ジェンダー平等を実現しよう

【目標8】　働きがいも経済成長も

【目標10】　人や国の不平等をなくそう

【目標16】　平和と公正をすべての人に

------------------------------------

子どもたちが笑顔で育つ環境の実現

■支援が必要な児童、生徒への取組

●こどもサポートネット事業(1,614万円)

　小中学校と連携し、支援の必要な児童を発見するとともに児童や保護者の悩みを傾聴し、利用可能な支援を提案し児童や保護者のニーズに合わせて利用に向けたサポートを行います。

■全就学前児童への切れ目のない見守り環境の整備

●2歳児子育てケアプラン作成事業(区1,032万円)

　2歳児の子どものいるご家庭に子育てアンケートとあわせて、利用できるサービス・情報をお送りします。相談を希望される方には、ご家庭への訪問も行います。

■相談機能、情報発信の強化と交流の場の充実

●地域担当保健師や子育て支援室の相談員による相談

●子ども・子育てプラザをはじめとした親子が交流する場の提供

●子育てマップや子育て情報紙「わいわい」の発行(区26万円)

「生き抜く力」の育成

■児童、生徒の学力向上に向けた取組

●中学生の英検受験支援(区306万円)

●大阪市塾代助成事業を活用した民間の塾事業者との連携による課外授業の実施(区11万円)

●放課後学習チャレンジ教室事業(区685万円)

　こどもサポートネット事業の対象となる児童・生徒を中心に、学習習慣の定着や学習意欲の向上を図ります。

■チャレンジ精神や課題解決力を身につけたり、学習の目的を見つけたりする機会づくり

●すみのえ未来塾事業(446万円)

　チャレンジ精神、探求心や判断力、コミュニケーション力等未来に向かって挑戦する力を育むためのワークショップ等をとおして、子どもたちがこれからの社会を「生き抜く力」を身につける機会を創出します。

--------------------------------------------------------------------------------

愛しむ(いつくしむ)

すべての人が自分らしく暮らせるまちづくり

------------------------------------

SDGs

【目標1】　貧困をなくそう

【目標3】　すべての人に健康と福祉を

【目標4】　質の高い教育をみんなに

【目標5】　ジェンダー平等を実現しよう

【目標8】　働きがいも経済成長も

【目標10】　人や国の不平等をなくそう

【目標11】　住み続けられるまちづくりを

【目標16】　平和と公正をすべての人に

------------------------------------

地域の活力と魅力の向上

■多様な主体による地域の活気と魅力づくり

●地域活動支援事業(区5,960万円)

　地域活動協議会をはじめとした、様々な団体や企業、NPO、個人が中心となって地域の課題解決ができるように、まちづくりセンターを通して地域活動をサポートし、地域コミュニティの活性化を図ります。

■地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

●地域活動協議会の意義や求められる役割について理解を深めるための積極的な情報発信

■地域の魅力の共有と発信

●すみのえ情報局の運用(区429万円)

　住之江区内の関連団体等が情報発信者となって、住之江区の歴史・文化や地域活動、社会貢献活動の様子、区の取組などを動画、写真、記事等で発信することができるポータルサイト「すみのえ情報局」の活用を促進します。

支え見守りあう地域づくり

■安心を提供する福祉施設の推進

●福祉・健康・医療・暮らしの支援など各種公的制度のほか、地域・NPO等が実施する支援の情報共有による相談対応力の向上

■地域福祉の充実

●見守りあったかネット事業(区1,217万円)

　各地域や企業、学校等において、高齢者、障がい者、児童などに対する地域の見守り活動の担い手である「見守りあったかネットサポーター」 を養成します。

●ふだんのくらししあわせプランに基づく各地域の取組紹介

　「ふだんのくらししあわせプラン」に基づく地域福祉への意識の向上、参画へのきっかけづくりの場を設けます。

--------------------------------------------------------------------------------

備える(そなえる)

安全・安心な まちづくり

------------------------------------

SDGs

【目標1】　貧困をなくそう

【目標9】　産業と技術革新の基盤をつくろう

【目標11】　住み続けられるまちづくりを

【目標13】　気候変動に具体的な対策を

【目標16】　平和と公正をすべての人に

------------------------------------

災害に負けないまちづくり

■自助・近助・共助による防災力の向上と圧倒的多数の人材育成

●防災力の向上(区526万円)

　町会や自主防災組織をはじめ、学校や民間企業等の幅広いコミュニティ層に対して、研修や出前講座などの機会を捉え、ICTを活用した防災人材育成プログラムを提供します。

　ハザードマップや避難カードの活用方法について啓発し、自ら作成した後、近所や地域の方へ避難カードやマイタイムラインの作成を促せるような「近助」の防災力が向上する取組を行います。

■減災のための環境を整備

●避難所の充実など(区127万円)

　避難所の備蓄品の充実や津波避難ビルの表示板の増設及び災害時避難所の表示板及び誘導表示板の変更に取り組みます。

犯罪のない安心して暮らせる環境の実現

■防犯意識の向上に向けた啓発

●特殊詐欺被害防止キャンペーンや防犯出前講座

■街頭犯罪抑止のための環境整備

●青色防犯パトロールカーなどによる巡回パトロールや街頭犯罪防止のための防犯カメラの管理・運営など(区100万円)

※区は区の予算です。そのほか、各局や教育委員会においても予算措置がされています。

--------------------------------------------------------------------------------

施策推進のために

住之江区将来ビジョンでは各施策を支える手法を掲げています。

ICTを活用した地域力の強化

・ICTの活用

　行政オンラインシステムを使った来庁時にお持ちいただく持ち物の判定や来庁前の予約など、区民のみなさまの利便性の向上に向けてICTを活用します。

・すみのえ情報局

　地域が情報を発信できるサイト「すみのえ情報局」は、団体のみなさまの投稿あってのサイトです。地域活動・社会貢献活動を情報発信できる環境を整えます。

イラスト説明＝すみのえ情報局シンボルマーク

官民連携の一層の強化

・企業・NPO・学校・地域交流会

　多様な団体が持つ独自の力を活力ある地域づくりに生かせるよう、企業、NPO等との連携に一層取り組みます。

・教育機関との連携

　教育機関との連携を深めながら、取組を進めます。

より身近な区行政の実現

　区民の視点にたった区行政の展開とサービスの提供を実現するために、主に下記の取組を実施します。

・区民アンケートの実施

・区政会議の開催

・区の広報・広聴事業

・職員の人材育成　など

--------------------------------------------------------------------------------

～運営方針の策定～

　区政会議の3つの部会や全体会で活発な意見交換をしていただき、地域活動協議会へご報告しながら運営方針を策定しています。

--------------------------------------------------------------------------------

住之江区ではSDGsの理念に賛同し、区民のみなさまとSDGsの達成をめざします。

SDGsと私たち

　SDGsとは、2015年の国連サミットで採択された2030年までに達成するために掲げた、17のゴール・169のターゲットから構成された国際目標です。

　SDGs達成のためには、私たち一人ひとりが「じぶんごと」として考え、行動することが大切！

　区民のみなさまにとってのSDGsが、住之江区のめざすSDGsです。ぜひ、簡単なことから始めてみてください。

------------------------------------

みんなで続ける

「ありがとう」 があふれるまち

住之江区をめざして

SUSTAINABLE　DEVELOPMENT　GOALS

--------------------------------------------------------------------------------

SDGs　2030年までに達成すべき17の目標

SUSTAINABLE　DEVELOPMENT　GOALS

目標1　貧困をなくそう

目標2　飢餓をゼロに

目標3　すべての人に健康と福祉を

目標4　質の高い教育をみんなに

目標5　ジェンダー平等を実現しよう

目標6　安全な水とトイレを世界中に

目標7　エネルギーをみんなにそしてクリーンに

目標8　働きがいも経済成長も

目標9　産業と技術革新の基盤をつくろう

目標10　人や国の不平等をなくそう

目標11　住み続けられるまちづくりを

目標12　つくる責任つかう責任

目標13　気候変動に具体的な対策を

目標14　海の豊かさを守ろう

目標15　陸の豊かさも守ろう

目標16　平和と公正をすべての人に

目標17　パートナーシップで目標を達成しよう

--------------------------------------------------------------------------------

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号4面】

今月のお知らせ

65歳以上(介護保険第1号被保険者)の方へ

　介護保険第1号被保険者(大阪市にお住まいの65歳以上)の方で、口座振替または納付書で保険料を納付いただいている方(普通徴収)には、介護保険料決定通知書を4月中旬に送付します。なお、年金から納付いただいている方(特別徴収)には、保険料決定通知書を7月中旬に送付します。

問合せ　区保健福祉課(高齢・介護保険)　窓口4番　☎6682-9859

緊急通報システムについて

　大阪市内在住の65歳以上のひとり暮らしの方や高齢者のみの世帯、または身体に重度の障がいがある方などを対象に、急病などの緊急時に迅速に対応する緊急通報システム事業を実施しています。

　令和4年度から従来の固定型の緊急通報機器に加え、固定電話を必要とせず、自宅内で持ち運び可能な携帯型の機器も新たに導入することになりました。

　現在、固定型機器をご利用で携帯型機器に変更する場合も手続きが必要です。

費用　前年所得税非課税世帯は無料(課税世帯は別途費用あり)

申込み・問合せ　区保健福祉課(高齢・介護保険)　窓口4番　☎6682-9859

弁護士による「離婚・養育費」に関する専門相談を実施します　無料　要申込

　大阪市では、離婚・養育費に関する悩みをお持ちの市民の方々のために、弁護士による専門相談を実施します。大阪弁護士会所属の弁護士が、法律的な知識を要する問題の相談に応じ、アドバイスを行います。

　未成年のこどもがいる父母が、離婚に際して「養育費の取り決めについて相手が話し合いに応じてくれない」などの悩み事や困り事についての解決方法を知りたい、あるいは、弁護士に依頼するところまでは考えていないけれども、一度話だけ聞いてみたい、といった場合にご利用ください。秘密は厳守します。

　市内在住であれば、どちらの区役所でもご相談いただけます。詳しくは、大阪市ホームページをご覧ください。

詳しくはこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/kodomo/page/0000384456.html

日時　5月10日(火)14:00～17:00 (相談時間は45分以内)

場所　区保健福祉課　窓口3番

対象　市内在住で未成年のこどもがいる父母

定員　4名(先着順)

申込み　事前電話予約　4月26日(火)9:00～受付

問合せ　区保健福祉課(福祉)　窓口3番　☎6682-9857

児童扶養手当の支給月額が改定されます

　児童扶養手当月額については、「児童扶養手当法」及び「児童扶養手当法による児童扶養手当の額等の改定の特例に関する法律」に基づき、全国消費者物価指数を基に手当額が改定されます。令和4年4月分から、以下のとおり改定されます。

○児童1人目

　全部支給　43,160円→43,070円

　一部支給　 43,150円～10,180円→43,060円～10,160円

○児童2人目

　全部支給　10,190円→10,170円

　一部支給　 10,180円～5,100円→10,160円～5,090円

○児童3人目以降

　全部支給　6,110円→6,100円

　一部支給　 6,100円～3,060円→6,090円～3,050円

　現在児童扶養手当を受給中の方については、4月末頃に改定後手当額のお知らせを送付します。

　問合せ　区保健福祉課(福祉)　窓口3番　☎6682-9857

特別児童扶養手当・特別障がい者手当等の手当月額の改定について

　令和4年4月分から手当月額が以下のとおり改定されます。

①特別児童扶養手当(1級)：52,500円→52,400円

②特別児童扶養手当(2級)：34,970円→34,900円

③特別障がい者手当：27,350円→27,300円

④障がい児福祉手当：14,880円→14,850円

⑤経過的福祉手当：14,880円→14,850円

・①②は20歳未満で政令で定める程度の障がいがある児童を監護している父もしくは母または養育者に支給される手当です。

・③⑤は20歳以上、④は20歳未満で身体または精神に重度の障がいがあるため、日常生活において常時介護を必要とする状態の方に支給される手当です。

問合せ　区保健福祉課(福祉)　窓口3番　☎6682-9857

【広報さざんか2022年4月号5面】

各種相談

各種相談はすべて無料・秘密厳守です。マスクの着用にご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止・延期等になる場合があります。

相談内容　弁護士による法律相談　要予約

実施日時(受付時間)　4月5日(火)、12日(火)、26日(火)13:00～17:00

定員：16名※26日は24名

申込：当日9:00～電話予約のみ。各回先着順。

場所　区役所4階　相談室

問合せ　区総務課(広聴)　窓口41番　☎6682-9683

相談内容　行政相談

実施日時(受付時間)　4月19日(火)13:00～16:00(15:00受付終了)

申込：当日窓口で受付。先着順。

場所　区役所4階　相談室

問合せ　区総務課(広聴)　窓口41番　☎6682-9683

相談内容　司法書士による法律相談

実施日時(受付時間)　4月18日(月)13:00～16:00(15:30受付終了)

定員：6名

申込：当日窓口で受付。先着順。

場所　区役所4階　相談室

問合せ　区総務課(広聴)　窓口41番　☎6682-9683

相談内容　不動産無料相談

実施日時(受付時間)　4月7日(木)13:00～15:00

定員：4名

申込：当日窓口で受付。先着順。

場所　区役所4階　相談室

問合せ　区総務課(広聴)　窓口41番　☎6682-9683

相談内容　社会保険労務士による市民相談

実施日時(受付時間)　4月14日(木)13:00～16:00(15:15受付終了)

定員：4名

申込：当日窓口で受付。先着順。

場所　区役所4階　相談室

問合せ　区総務課(広聴)　窓口41番　☎6682-9683

相談内容　行政書士による市民相談(相続などの相談可)

実施日時(受付時間)　4月22日(金)14:00～17:00(16:30受付終了)

定員：6名

申込：当日窓口で受付。先着順。

場所　区役所4階　相談室

問合せ　区総務課(広聴)　窓口41番　☎6682-9683

相談内容　ひとり親家庭相談　要予約

実施日時(受付時間)　毎週火曜・水曜・木曜　9:15～17:30(祝日除く)

場所　区役所1階　保健福祉課　窓口3番

問合せ　区保健福祉課(福祉)　窓口3番　☎6682-9857

--------------------------------------------------------------------------------

子育て情報

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止・延期、内容変更等になる場合があります。詳しくは、各担当のホームページやお電話にてご確認ください。

母親教室　無料　予約不要

日時　4月11日(月)・18日(月)13:30～15:30

内容

1回目：4月11日(月)

・栄養士より「赤ちゃんとお母さんの栄養」

・保健師より「妊娠中ってみんなどう過ごしてるの？」

ストレッチ　あり動きやすい服装でお越しください♪

2回目：4月18日(月)

・保健師より「沐浴ってどうやるの？」

先輩ママとの交流会あり　ご夫婦での参加も大歓迎♪

「妊婦歯科健診」併設

※歯科健診のみご希望の方は、14時までにお越しください。

対象　8月頃出産予定の方(7月予定以前の方もぜひどうぞ)

持ち物　母子健康手帳・筆記用具・テキスト「わくわく」

赤ちゃん交流会　無料　予約不要

日時　4月18日(月)13:30～15:00

内容　情報交換と交流会・育児相談・身体計測

対象　1～3か月のお子さんとその保護者

※各自飲料持参、マスク着用をお願いします。

場所　区保健福祉センター分館2階

問合せ　区保健福祉課(地域保健活動)　窓口31番　☎6682-9968

--------------------------------------------------------------------------------

子育て支援室のわくわく子育て

『手作りおもちゃで遊ぼう』

手に入りやすいもので、簡単に作ることができる『手作りおもちゃ』を紹介します！

ぜひお子さんと一緒に、作って遊んでみてくださいね♡

☆手作りおもちゃ『ぶんぶんごま』☆

用意するもの

・牛乳パックの底を切ったもの

・はさみ

・千枚通し

・たこ糸や毛糸など

作り方

①牛乳パックの底の真ん中あたりに、約1cmの間隔をあけて2つ穴をあけます。

※角は危なくないように丸く切っておきましょう。

②穴に糸を通して結んで完成！好きなシールを貼ったり絵を描いたりして飾りましょう。

遊び方

糸の両端を指にひっかけて、何回か回転させておき、外に向かって引っ張ります。

糸が伸びきったら少しゆるめ、また引っ張るを繰り返します。

回転スピードが上がるとブンブン音がなり、軽い力でまわるようになりますよ！

注意

必ず大人と一緒に遊び、危険のないよう気を付けましょう！

子育てに関するご相談は、お気軽に子育て支援室をご利用ください

問合せ　区保健福祉課(子育て支援室)　窓口3番　☎6682-9878・9880

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号6面】

健康情報

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止・延期、内容変更等になる場合があります。

詳しくは、各担当のホームページやお電話にてご確認ください。

こころの健康に関する相談窓口　無料

　区役所では身近な相談窓口として、精神科医師・精神保健福祉相談員・保健師がこころの健康や医療、就労に関する相談を受けています。

◆精神保健福祉相談

①精神保健福祉相談員・保健師による相談

日時　月～金曜　9:00～17:30

②精神科医師による相談　要予約

日時　毎月第1木曜・第3月曜　いずれも14:00～

◆家族教室　要予約

　統合失調症で治療中の方のご家族が対象です。病気を正しく理解し、ご本人への接し方を学び、同じ悩みを持つ家族が日々の不安や思いを話す場となっています。

日時　毎月第4木曜　14:00～16:00

◆地域生活向上教室(花陽きやんせ)　要予約

　統合失調症等の精神疾患のある方が対象です。生活習慣を整え、対人関係のスキルを身につけることを目的にレクリエーションなどを行っています。(主治医の許可が必要)

日時　毎月第2火曜　9:30～11:00

※各事業の日程は変更になる場合があります。

申込み　電話または窓口にて受付　月～金曜　9:00～17:30(祝日除く)

問合せ　区保健福祉課(地域保健活動) 窓口31番　☎6682-9968

--------------------------------------------------------------------------------

精神科医による精神保健福祉相談　無料　要予約

　不安・うつ・不眠など、こころの健康に関して、精神科医師が相談に応じます。

日時　4月18日(月)・4月21日(木)・5月16日(月)・5月19日(木)いずれも14:00～

問合せ　区保健福祉課(地域保健活動)　窓口31番　☎6682-9968

--------------------------------------------------------------------------------

種別・費用　大腸がん検診(免疫便潜血検査)　300円　要予約

実施日・場所・受付時間

4月21日(木)分館　9:30～10:30

5月9日(月)南港　9:30～10:30

6月5日(日)分館　9:30～10:30

対象(大阪市民で)　40歳以上の方

種別・費用　肺がん検診(胸部Ｘ線検査・かく痰(たん)検査)　無料(かく痰検査は400円)　要予約

実施日・場所・受付時間

4月21日(木)分館　9:30～10:30

5月9日(月)南港　9:30～10:30

6月5日(日)分館　9:30～10:30

対象(大阪市民で)　40歳以上の方　※かく痰検査は50歳以上でハイリスク対象者のみ

種別・費用　乳がん検診(マンモグラフィ検査)　1,500円　要予約

実施日・場所・受付時間

6月5日(日)分館　13:30～14:30

7月1日(金)分館　18:30～19:30

対象(大阪市民で)　40歳以上の女性で隔年受診昭和58年3月31日以前生まれで令和3年度未受診の方

種別・費用　骨量検査　無料　要予約

実施日・場所・受付時間

5月26日(木)分館　9:30～10:30

6月5日(日)分館　13:30～14:30

対象(大阪市民で)　18歳以上の方

種別・費用　特定健康診査　無料　予約不要

実施日・場所・受付時間

5月8日(日)粉浜　9:30～11:00

5月26日(木)分館　9:30～11:00

対象(大阪市民で)　大阪市国民健康保険または後期高齢者医療制度に加入の方(40歳以上)

種別・費用　歯科健康相談　無料　予約不要

実施日・場所・受付時間

4月21日(木)分館　9:30～10:30

5月9日(月)南港　9:30～10:30

対象(大阪市民で)　18歳以上の方

種別・費用　BCG接種　無料　予約不要

実施日・場所・受付時間

4月13日(水)分館　13:30～14:00

5月25日(水)分館　13:30～14:00

対象(大阪市民で)　生後5か月～1歳未満の方

種別・費用　結核健診(胸部X線撮影)　無料　予約不要

実施日・場所・受付時間

4月5日(火)分館　10:00～11:00

5月20日(金)分館　10:00～11:00

対象(大阪市民で)　15歳以上の方

※予約が終了した実施日は掲載していません。

※胃がん検診は令和3年度より医療機関のみで実施しています。

場所　分館＝区保健福祉センター分館(浜口東3-5-16)、南港＝南港ポートタウン管理センター(南港中2-1-99)、粉浜＝粉浜小学校(粉浜2-6-6)

申込み・問合せ　区保健福祉課(健康支援)　窓口31番　☎6682-9882

--------------------------------------------------------------------------------

催し

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止・延期、内容変更等になる場合があります。

詳しくは、各担当のホームページやお電話にてご確認ください。

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号7面】

施設からのお知らせ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止・延期、内容変更等になる場合があります。詳しくは、各担当のホームページやお電話にてご確認ください。

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号8面】

すみのえトピックス

“咲洲あいのもり”プロジェクト

　相愛大学、森ノ宮医療大学、住之江区役所の協働プロジェクトとして、相愛大学の“あい”、住之江区役所の“の”、森ノ宮医療大学の“もり”を総称し、“咲洲あいのもり”と名付けています。そこに南港に拠点を置くラグビーチーム「NTTドコモ　レッドハリケーンズ大阪」や「NOBY　T&F　CLUB」も参加し、大学・スポーツチーム・企業・区役所の連携でプロジェクトチームを盛り上げています！皆さんも参加してみませんか？

詳しくはこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000560670.html

------------------------------------

NOBY　T＆F　CLUB

ＱＲのＵＲＬ＝https://network.osakagas.co.jp/effort/vitality/noby/

運動プログラム授業

　北京オリンピック銀メダリスト朝原(あさはら)宣治(のぶはる)氏が主宰し、大阪ガスネットワークが運営する陸上競技クラブ「NOBY　T&F　CLUB」による運動プログラムを、咲洲みなみ小中一貫校等の授業に取り入れています。

問合せ　区保健福祉課(教育)　窓口3番　☎6682-9993

------------------------------------

住之江区役所　e-SUMINOe　ええすみのえ

区の子育て支援

　「子育てに困ったな、どうしよう」そんなとき、保育士、保健師、家庭児童相談員(児童福祉などの知識や経験のある職員)が子育ての悩みや不安などをお聞きし、子育てに関するアドバイスや利用可能なサービス、制度、専門機関等をご紹介します。

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000522454.html

問合せ

【家庭児童相談】区保健福祉課(子育て支援室)　窓口3番　☎6682-9878

【乳幼児健診】区保健福祉課(健康支援)　窓口31番　☎6682-9882

【南港・よつばランド】区保健福祉課(地域保健活動)　窓口31番　☎6682-9968

がん検診・特定健診など

　ご自身の体を知るところから健康づくりを始めてみませんか？取扱医療機関(要予約)もしくは集団健診会場(がん検診・骨量検査は予約要、特定健診・健康診査は予約不要)にて受診することができます。

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000562171.html

問合せ

【特定健診・健康診査に関すること】区窓口サービス課(保険年金)　窓口8番　☎6682-9956

【がん検診・骨量検査に関すること】区保健福祉課(健康支援)　窓口31番　☎6682-9882

※新型コロナウイルス感染症の影響等により、取組みが変更または中止となる場合があります。予めご了承願います。

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号12面】

連載企画

地活協通信(ちかつきょうつうしん)

高めよう14地域の防災力

命を守る「近助」～防災・減災するために～　Vol.10　南港緑

○「自助」と「近助」で住民を守る

　南港緑地域では、市営住宅やマンションの各棟ごとで、防災・減災に関する取組みを行っています。防災訓練では、各棟の各階ごとで、津波を想定した垂直避難や、安否確認シールを用いた安全点検などを行い、自分で自分の身を守る「自助」と、互いに助け合いながら命を守る「近助」の力を高めています。ある棟では、住民の年齢や世帯情報、車イスの有無、空家の状況などをまとめて、名簿を作成しています。発災時には、支援を必要とされる方への声掛けや各戸への安全確認を効率よく行えるよう、住民の皆さんの命を守るために備えています。

　また、こうした情報収集を防災リーダーを中心とした地域の役員で行った後、会館に地域本部を設置し、地域全体の情報を統括できる体制も整えています。各棟から会館、そして避難所と3つの要所を作り、地域全体で「自助」と「近助」の仕組みができています。

写真説明＝安否確認シールの点検の様子

○南港緑地域の取組み

　各棟での訓練の他に、消火器を使った消火訓練や、無線で各棟と地域本部になる会館とをつなぐ体制づくりなど、様々な取組みを行っています。また、発災後、住民には安全な自宅や知人・友人宅に一時的に避難する在宅避難を積極的に勧めています。

写真説明＝消火訓練の様子

☆キーワードは「自助」と「近助」

○地域の想い

　我々の地域は高齢化が進み、年々独居の方や支援を必要とされる方も増えてきています。そのため、支援が必要な方には必ず声掛けができるよう、入居時に緊急連絡先や世帯情報などをアンケート形式で収集し、その情報をもとに名簿を作成しています。そのため、発災時の行動も素早くとることができるし、声掛けには顔見知りの役員が向かうので、住民の皆さんも少しは安心するのではないかと思います。

　我々の地域は避難所と少し距離があるため、すぐに避難所へ行きたくても、行けないことがあると思います。だから、声掛けをしながら避難をしたり、在宅避難ができない方を一時的に迎え入れたりと、住民の皆さんで互いに助け合いながら命を守る「近助」が本当に大事です。

　今後はコロナ禍での発災時の対応も含め、防災リーダーを中心に無線の訓練や地域本部の立ち上げなど、実践的な訓練に挑戦したいですね。想定外のことが非常に多い災害に備えていきたいと思います。そして、地域内の若い力である学生にも訓練に参加していただき、地域の担い手としてもつながりができていければ嬉しいです。

写真説明左＝防災リーダー　庫本さん

写真説明右＝梶本さん

　市営住宅やマンションの各棟ごとに、様々な取組みを行いながら「自助」と「近助」の力をつけているんですね。皆さんも発災時はまず自分の命を守る「自助」に取り組み、それができたら、近くの人に声をかけ、互いに助け合う「近助」に取り組みましょう。

次回はさざんか花の町協議会！5月号をお楽しみに！

【問合せ】区協働まちづくり課　窓口43番　☎6682-9734(地域活動協議会担当) ☎6682-9974(防災担当)

------------------------------------

この取組みがめざす主なSDGs

【目標1】　貧困をなくそう

【目標9】　産業と技術革新の基盤をつくろう

【目標11】　住み続けられるまちづくりを

【目標13】　気候変動に具体的な対策を

【目標17】　パートナーシップで目標を達成しよう

--------------------------------------------------------------------------------

SDGs　2030年までに達成すべき17の目標

SUSTAINABLE　DEVELOPMENT　GOALS

目標1　貧困をなくそう

目標2　飢餓をゼロに

目標3　すべての人に健康と福祉を

目標4　質の高い教育をみんなに

目標5　ジェンダー平等を実現しよう

目標6　安全な水とトイレを世界中に

目標7　エネルギーをみんなにそしてクリーンに

目標8　働きがいも経済成長も

目標9　産業と技術革新の基盤をつくろう

目標10　人や国の不平等をなくそう

目標11　住み続けられるまちづくりを

目標12　つくる責任つかう責任

目標13　気候変動に具体的な対策を

目標14　海の豊かさを守ろう

目標15　陸の豊かさも守ろう

目標16　平和と公正をすべての人に

目標17　パートナーシップで目標を達成しよう

--------------------------------------------------------------------------------

地域が情報を発信できるポータルサイト

～すみのえ情報局～

シンボルマークが決定しました！

イラスト吹き出し＝みなさんの投票でシンボルマークに決まりました！住之江区を走り回って情報を集めますよろしくお願いします！

投票していただきありがとうございました。

------------------------------------

イベント案内や活動の様子を直接発信していただける団体を募集しています！

　5月31日(火)までに登録された団体のうち、希望される12団体を「すみのえ情報局」トップページでご紹介します。

※希望多数の場合は抽選になります。

　この機会にぜひご登録ください！

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000553980.html#campaign

------------------------------------

バナー広告募集中

詳しくはこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000553980.html#banner

--------------------------------------------------------------------------------

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号別冊1面】

令和4年度　すみのえ学びでポート　第1回

子どもの学び

学校の外での学習を考えるの巻

　子どもたちが生き生きと楽しく、安心して学び育つことは、私たちみんなの願いです。毎日の学びや経験の積み重ねの先に、子どもたちの明るい未来が待っています。

　住之江区では、学校の先生や保護者だけでなく、子どもたちの周囲にいる大人たちみんなが、子どもの学びや育ちを支える「チーム学校」のメンバーであるという考えのもとに、子どもたちを応援する事業や取組みを行っています。

写真説明＝住之江区長　末村　祐子

吹き出し＝みなさんも「チーム学校」のメンバーとして、みんなで子どもたちの学びや育ちに一緒に取り組みましょう！

チーム学校

子どもと家庭

学校

教員、学校職員など

元気アップ委員見守り隊など

地域

住民、企業、NPOなど

医療機関

福祉関係機関

区役所

スクールソーシャルワーカースクールカウンセラーなど福祉の専門職

------------------------------------

第1回特別号

目次

2　特集1　子どもの学習と成長を地域で支える　武庫川女子大学矢野裕俊教授

3　特集2　座談会「先生は、なぜ宿題を出すのか」

4　特集3　教えて！トライさん　トップ塾企業に聞く楽しい学習方法

これからの1年間、子どもの学びや育ちをテーマにした記事を広報さざんかに掲載していきます。

--------------------------------------------------------------------------------

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号別冊2面】

特集1

子どもの学習と成長を地域で支える

新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもたちは学校でも家庭でも、これまでとは異なった環境で過ごしています。子どもの学びを大人はどのように見守れば良いでしょうか。子どもの自己肯定感の観点から、武庫川女子大学教育学部教授　 矢野(やの)裕俊(ひろとし)先生に伺いました。

■コロナ禍で進む経験の貧困

　新型コロナウイルスによる感染症の蔓延が長期化する中で、子どもが置かれた状況はさらに厳しさを増しているようです。小・中学校に通う子どもたちにとっては、学校が生活の主要な舞台であるにもかかわらず、休校を余儀なくされ、タブレット端末によって家庭で授業を受け、登校できた場合でも、運動会や体育祭、音楽会、修学旅行などの行事が満足に行えないということが大阪市でも見られました。

　令和3年度全国学力・学習状況調査の大阪市の結果によると、新型コロナウイルス感染症の拡大で多くの学校が休校していた期間、勉強について不安を感じた子どもの割合は、小学校6年生で58％、中学校３年生で66％と、いずれも6割前後で、しかも全国平均を2〜3ポイント上回っています。他方、テレビゲームをする時間はコロナ禍の中で大きく増加し、小学校6年生で36％、中学校3年生で45％が1日に3時間以上をテレビゲームに費やすと答えています。こちらの数字は全国平均を大きく上回っています。コロナ禍の中で子どもの生活は不安が募り、孤立が深まっているようです。

　子どもが健全な成長を遂げるためには物質的な生活基盤の安定がもちろん重要ですが、それだけではなく、様々なことを経験する機会が必要です。そうした機会が不十分な状態が続くことがもたらすダメージは子ども自身にとっても社会にとってもたいへん大きいものです。学校は子どもたちが成長に欠かせない経験の機会として重要な場ですが、学校にばかりその役割を期待するのではなく、地域社会が引き受けることでもあります。

■オンライン学習の導入とその課題

　コロナ禍の中で、学校では遠隔授業の実施のために、1人1台の通信端末を配付するなど通信環境の整備が急速に全国で進められました。しかし大事なことは端末の配付ではなく、1人ひとりに合った個別最適な学びを実現することです。オンラインでの学習はそうした個別最適な学びを進めるうえでは有効な方法になる可能性をもっています。家庭での自主学習にも大いに利用することができるはずです。しかし、そのためにはいくつかの課題があります。学校内の通信ネットワーク環境が整備されるだけでは不十分で、家庭を含む学校外でのネットワーク環境の状態如何によって子どもの学習は大きな影響を受けるからです。オンライン授業が進んでいる韓国や欧米でも、機材が十分に行き渡らず、家庭の経済状況で遠隔授業や学習が満足にできず、格差が広がっているとの指摘もあります。

　オンラインでの学習のためには、ハード面の整備だけではなく、自発的な学習を促すすぐれた教材が必要です。コロナ禍でいやおうなく進んだオンライン学習ですが、これまでの経験を検証することが今後のためにきわめて重要です。学校だけでなく地域社会においても、オンラインによる授業や自主学習がどのように行われたのか、そこにはどのような課題があったのかを探ることが求められています。そうした検証においては、当事者である子どもたちの声にぜひ耳を傾けたいものです。

■地域に子どもの居場所と豊かな人間関係を

　学力の向上には学習のための落ち着いた環境、子どもが安心していられる居場所が必要です。精神的な安定が得られ、自分に対する信頼をはぐくめるような居場所で、人と人との多様な関係性が築かれなくてはなりません。自分に対する信頼は自己肯定感と呼ばれますが、それは、①自分自身に対する肯定的な認識(自分にはよいところがある、自分が好きだ)、②自分がもつ将来展望(自分には夢や希望がある、がんばれば報われる)、③自分と他者との関係に対する認識(自分は友だちから好かれている、周りの人から認められる)、という３つの要素から成り立っています。地域社会との関わりでは、③が重要です。地域での大人と子ども、子ども同士の関係が広がることによって、子どもは他者から受け入れられ、認められ、そのことに気づく経験も広がります。

　学習意欲はこうした子どもを取り巻く「つながり」と深く関わっていると言われます。地域社会で子どもの学習と成長を支える「つながり」を豊かに築くこと、そこに子どもの学力向上と未来を切り開く力を育てる鍵がありそうです。

詳しくはこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000561464.html

グラフ画像＝令和3年度全国学力・学習状況調査結果

プロフィール

武庫川女子大学　教育学部教授・教育学部長　矢野(やの)裕俊(ひろとし)

2019年度から現職

2003年度から2010年度まで大阪市立大学、大学教育研究センター教授

主な著書

『人間教育をめざしたカリキュラム創造－「ひと」を教え育てる教育をつくるー』(古川治と共編著、ミネルヴァ書房、2020年)『子どもの貧困/不利/困難を考えるⅢ－施策に向けた総合的アプローチ－』(埋橋孝文・田中聡子・三宅洋一と共編著、ミネルヴァ書房、2019年)『子どもの貧困/不利/困難を考えるⅠ－理論的アプローチと各国の取組み－』(埋橋孝文と共編著、ミネルヴァ書房、2015年)

--------------------------------------------------------------------------------

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号別冊3面】

特集2

座談会

先生は、なぜ宿題を出すのか

子どもにとって、「宿題」は毎日少しずつ基礎学力をつけるための大切な学習機会のひとつ。教育のICT化が進む中、「宿題」への取組み方も変わっていくのでしょうか？また、先生は「宿題」を通して子どもの何を知るのでしょうか？元校長先生のみなさんからお話を伺いました。

　HPにも座談会の様子を掲載しています。宿題だけでなく、家庭での学習や今の子どもたちに身につけてほしい学力等について語っていただいています。

HPはこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000561465.html

勉強する習慣を身につけるために

写真説明＝元大阪市立小学校長　松本(まつもと)杏子(きょうこ)さん

　先生方にとって宿題を出す目的の一つは、勉強をする習慣を身につけてほしいということだと思います。学年が上がるにつれて、学習内容は広く深くなっていきます。その定着を図るためには家庭での学習も必要になってきます。低学年のうちから、家庭で学習する習慣をつけ、徐々に学習時間や方法に工夫を加えていければと思います。私が教員であった時代は30年ほども前になりますが、子どもたちの学力もいろいろですので、誰もが時間や労力をかければ出来ることを宿題の内容の基本としていました。例えば、漢字や九九など反復練習が必要なもの、国語の予習としての言葉の意味調べなどがそれです。教科書を声に出して読む「音読」もよく出していました。最近は、共働きの家庭が増えていることや、低学年から塾などに通う子どももいることから、家庭以外での場所で放課後を過ごしている子どもが多いように思います。保護者の方が忙しい中、子どもの宿題を見るために時間を割くのは難しいでしょうが、音読であれば、何か他の事をやりながらでも聞いていただけるかなと思います。家庭での学習も、保護者の方に見守られていると子どもたちが感じられることが大切なことだと思います。

宿題も主体的に取り組む、今の教育

写真説明＝元大阪市立小学校長　川野(かわの)喜代(きよ)さん

　私が現職の教員だった時には、いわゆる本を読んだり、漢字を書いたり、計算ドリルをしたりといった、少しずつステップアップして基礎学力を定着させるための宿題を出すことが多かったと思います。今の学校現場を見ると、教科書自体が、子どもが主体的に勉強を進めていけるように作られていますので、宿題についても、子どもが主体的に取り組めるようになっています。例えば、理科の教科書には二次元コードがついていて、家に持って帰ったタブレットで二次元コードを読み取ると、ウェブページ上で理科の実験の様子を見ることができます。先生方も教材をよく研究されていて、子どもがいやいや宿題をやるというよりも、先生が「調べてごらん、おもしろいよ」と子どもたちに学びを勧めていきます。ドリル等で基礎学力を培った上で、子どもの様子を見ながら宿題を出しているなあと思いますね。教育のICT化が進む中で、保護者の中で「子どもたちに学力がつくのかな」と、疑問視される方もおられると思うのですが、現場の先生たちの話を聞くと、今の子どもはICTに慣れており、テストなどの結果から見ても、大人が思うよりも学力はついているように見受けられます。

宿題を通して子どもを知る手がかりに

写真説明＝元大阪市立中学校長　稲田(いなだ)純子(じゅんこ)さん

　自主学習の習慣化や家庭学習のきっかけとなるのはもちろんですが、先生方は宿題を点検したり、添削したり、質問したりすることによって、個々の子どもたちの学力を分析し、次への指導のための一つの資料を得ることができます。また、子どもたちに作文や感想文を書かせたり、レポートをまとめさせたりして、子どもたちが書いた文章を読むと、子どもが何に興味を持っているか、他の子とは違う視点で感想を書いてきているとか、こういうところを面白く思ったとか、その子の興味・関心や感情がわかるんですよね。そうすると、子どもへの理解が深まっていくんです。中学校では、卒業時には進路の問題が関わってきます。「あなたはこういうところに可能性を求めて、こういうところで将来頑張ってみたらどう？」とか、「こういう考えがあるのだったらこんな目標や夢があるんじゃない？」とか、これから何を目標・目的にして良いか漠然としている子どもに対して、宿題等で得たその子の興味や視点といった情報が、進路指導の一つのきっかけや手がかりになっていくんです。それを保護者の方と共有することによって、保護者の方にも子どもを応援してもらう、意識を高めてもらう、ということができるんではないかとも思います。

--------------------------------------------------------------------------------

--------------------------------------------------------------------------------

【広報さざんか2022年4月号別冊4面】

特集3

教えて！トライさん

トップ塾企業に聞く楽しい学習方法！

住之江区では、株式会社トライグループと協力し、放課後の学校施設を利用して、一人一人に合わせた指導を行う塾を開講しています。

テレビCMでもおなじみの株式会社トライグループさんに、子どもが家庭で学ぶ場合によくある悩みについて解決方法を伺いました。

悩み①　家で集中して勉強できない！

　勉強を始めるまでに時間がかかる、といったお悩みはありませんか？「勉強はできないもの、わからないもの」という先入観があると、スマホやゲームなどの楽しいことにどうしても流れてしまいがちです。いきなり難しい問題に取り組むのではなく、簡単な問題の復習や基礎的な練習問題から始めることで、「自分にもできるかもしれない」とモチベーションアップに繋がります。

悩み②　苦手なことはやりたくない！

　自分のできないこと・苦手なことをやれと言われるのは大人でも嫌だと思います。子どもたちにもただ「勉強しなさい」と言うのではなく、できたこと・挑戦しようとしていることをまず褒めます。できていないことを指摘するのではなく、できるようになったことや以前と比べて変化したことを具体的に褒めましょう。勉強がわかると楽しい、解ける問題が増えたといった成功体験を持つことが家庭での学習習慣の定着、基礎学力の向上に繋がります。

悩み③　文章は読むのも書くのも苦手！

　紙に書いたり文章を読んだりすることに苦手意識のある生徒も多いようです。そういった場合は、パソコンやタブレットを使って映像授業に取り組んでみるのもよいかもしれません。

学習の導入として、英単語や漢字の書き取り、百マス計算などがおすすめです！

ぜひ、チャレンジしてみてください。

答えはこちらからご確認ください

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000561466.html

加賀屋塾・南港塾・真住塾を開講しています！

　中学校1年生～3年生を対象に基礎学力の定着を目標に日々勉強に取り組んでいます。

　週2回参加することで勉強のリズムができ、定期テスト前にも焦らず計画的に学習を進めることができます。授業は一人一人に合わせて指導を行うため、自分のやりたいレベル、単元の指導を受けることができます。

　詳しくは区HPをご覧ください。

区HPはこちら

ＱＲのＵＲＬ＝https://www.city.osaka.lg.jp/suminoe/page/0000536883.html

トライさん吹き出し＝学校の授業内容がわからない、課題が進まないという人は、前学年の内容に遡って学習することが効果的！